

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

| | |
|------|-------|
| 区名 | 平野区 |
| 学校名 | 川辺小学校 |
| 学校長名 | 兵庫 唯史 |

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・川辺小学校では、第6学年 38名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

調査結果から、国語科の平均正答率は、59%で全国平均正答率と比べて8.2%、大阪市の平均正答率より8%下回る結果となった。算数科の平均正答率が53%で全国平均正答率と比べて9.5%下回り、大阪市の平均正答率より9%下回る結果となった。

また平均無回答率については、国語科は、4.9%で、全国の平均無回答率より0.1%低く、算数科では、3.0%で全国平均無回答率より0.4%、大阪市平均無回答率より0.1%低い結果となり、問題に対してあきらめずに取り組もうとする児童が育成され、前年度よりさらに改善されつつある結果となつた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕すべての領域において、大阪市や全国より4ポイント以上低く、特に「読むこと」の領域における正答率が大阪市、全国平均から10ポイント以上低くなっている。記述問題になるとさらに正答率が下がり、読み取って書くことの難しさを感じている児童が多くみられる。様々な学習の場で、「話すこと・聞くこと・書くこと」の機会をふやし、正確に聞く力、話す力、書く力の向上に向けて取り組みを進めていく。

〔算数〕すべての領域において、大阪市や全国より7ポイント以上低く、特に「データの活用」「変化と関係」では全国と比較して11ポイント下回った。日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようにしていく必要がある。また、ICTを活用した学習形態をさらに工夫し、基礎的・基本的な学習内容の定着とともに、既習内容を基にした活用する力を高めるための取り組みを進めていく。

質問紙調査より

「読書は好きですか」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は39.5%、「算数の勉強が好きだ」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は39.5%と全国の割合より上回っている。学ぶことに対する意欲を持っている。しかし、「将来の夢や目標を持っている」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は44.7%、「人が困っているときは、進んで助けている」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は36.8%、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は71.1%、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は57.9%、「自分には良いところがあると思う」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は26.3%、「学校へ行くのは楽しいと思う」の問い合わせに対して「当てはまる」と回答した児童は23.7%と大阪市や全国と比べると、かなり低くなっている。児童が「自分が好き」「友だちが好き」「学校がすき」と言えるような学校づくりに取り組むことが重要である。

今後の取組(アクションプラン)

本校では、国語科を研究教科として授業改善に向けた指導助言や校内研修等の支援などスクールアドバイザーの先生を招致し行っている。授業研究やメンター研修会等の教員研修を計画的に実践することを通して、授業を中心とし、様々な教育活動の中で児童一人一人が自分の考えをもち、互いに交流する場を多く取り入れ、主体的・対話的で深い学びを進め授業力向上に努めている。特に、「書く力」を身に着けることができるため、視写を中心とした指導を学校全体で取り組んでいる。少しではあるが、「書く」ことについて成果が表れてきている。学力向上に向けた研修を重ねることで、さらに教員の指導力を磨き、根拠や理由を表現できる児童の育成を図り、学力向上に努めしていく。

反復学習（計算・漢字・理科）を充実させるために、ICT機器を有効に活用し、「デジタルドリル」などの教材で漢字や計算等の基礎・基本の内容の定着や既習内容の復習等に取り組む。校内の掲示物を創意工夫し、社会情勢について知見を増やしたり、考えられる機会を増やすなど工夫し、学力の向上に努めていく。家庭には、今回の児童質問紙からうかがえる実態を機会あるごとに伝え、その課題解決のための協力を仰ぐようとする。

【 全体の概要 】

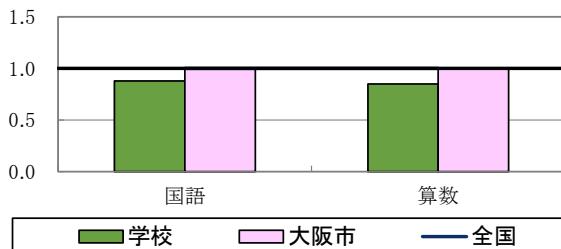
平均正答率 (%)

| | 国語 | 算数 |
|-----|------|------|
| 学校 | 59 | 53 |
| 大阪市 | 67 | 62 |
| 全国 | 67.2 | 62.5 |

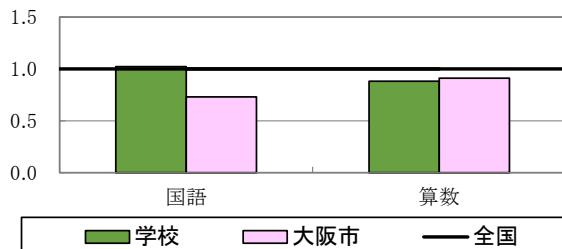
平均無解答率 (%)

| | 国語 | 算数 |
|-----|-----|-----|
| 学校 | 4.9 | 3.0 |
| 大阪市 | 3.5 | 3.1 |
| 全国 | 4.8 | 3.4 |

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



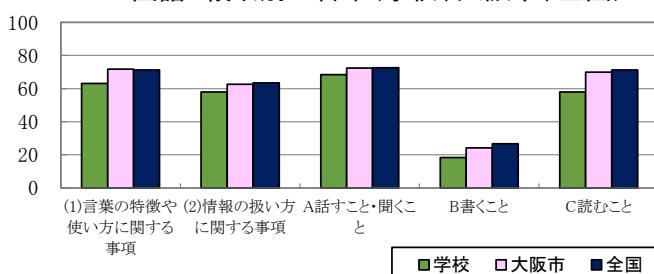
【 国 語 】

| 学習指導要領の内容 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|---------------------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 5 | 63.2 | 71.7 | 71.2 |
| (2)情報の扱い方にに関する事項 | 2 | 57.9 | 62.6 | 63.4 |
| (3)我が国の言語文化に関する事項 | 0 | | | |
| A 話すこと・聞くこと | 3 | 68.4 | 72.4 | 72.6 |
| B 書くこと | 1 | 18.4 | 24.2 | 26.7 |
| C 読むこと | 3 | 57.9 | 69.9 | 71.2 |

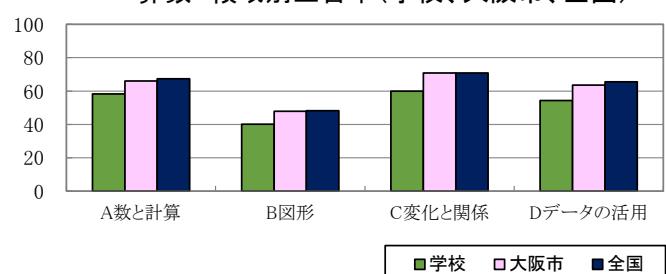
【 算 数 】

| 学習指導要領の領域 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と計算 | 6 | 58.3 | 66.1 | 67.3 |
| B 図形 | 4 | 40.1 | 47.8 | 48.2 |
| C 測定 | 0 | | | |
| C 変化と関係 | 4 | 59.9 | 70.8 | 70.9 |
| D データの活用 | 3 | 54.4 | 63.6 | 65.5 |

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や…

(2)情報の扱い方…

C読むこと
B書くこと
A話すこと・聞くこと

..... 全国
— 大阪市
■ 学校

算数 領域別正答率(対全国比)

(0.3)

0.2

0.1

0.0

1.0

0.7

0.4

0.1

0.2

0.5

0.8

1.1

..... 全国
— 大阪市
■ 学校

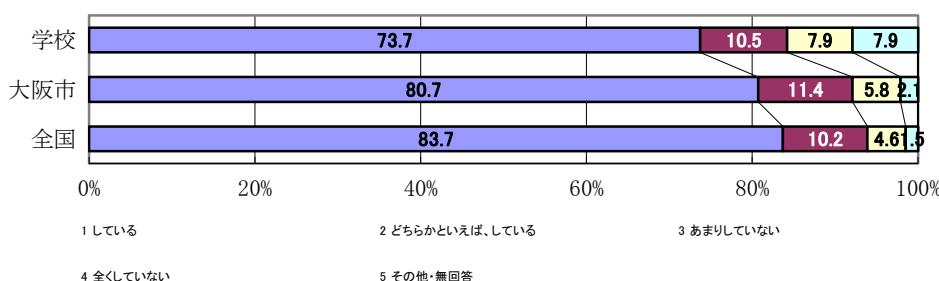
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

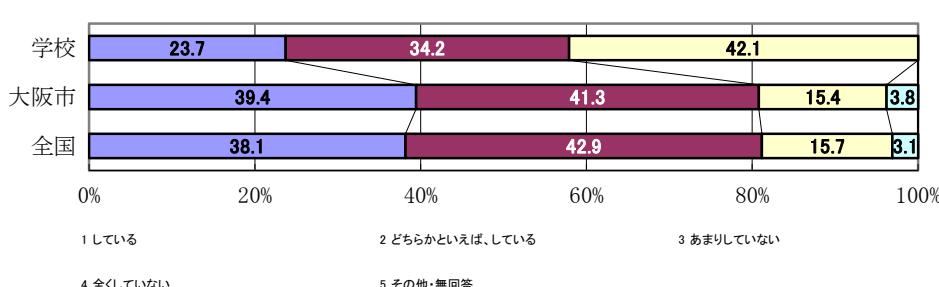
1

朝食を毎日食べている



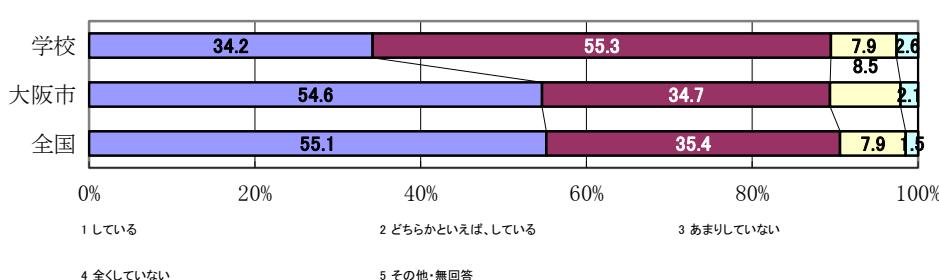
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ている



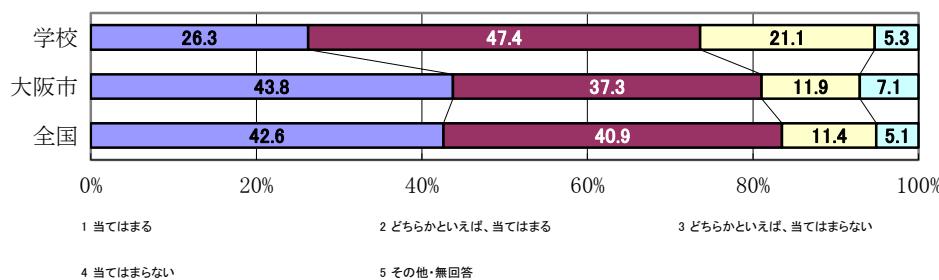
3

毎日、同じくらいの時刻に起きている



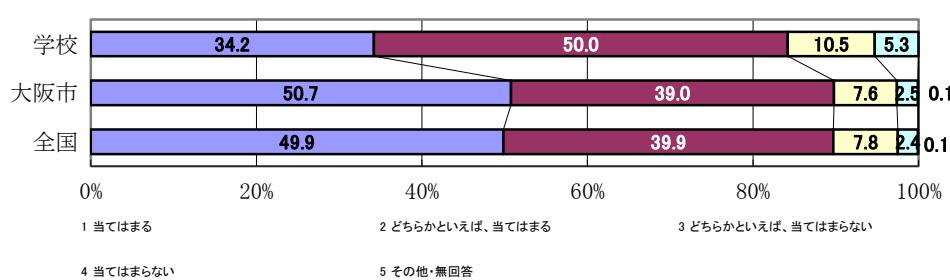
4

自分には、よいところがあると思う



5

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



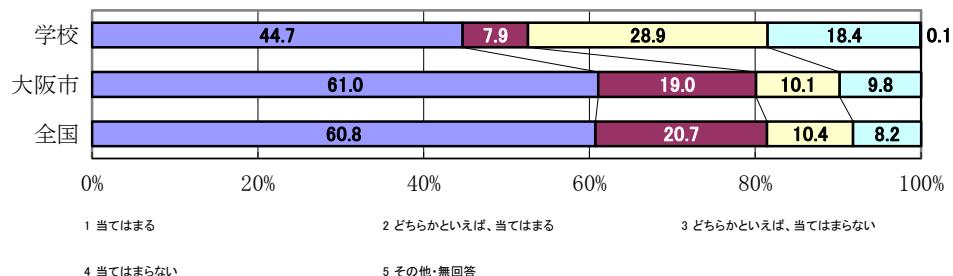
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

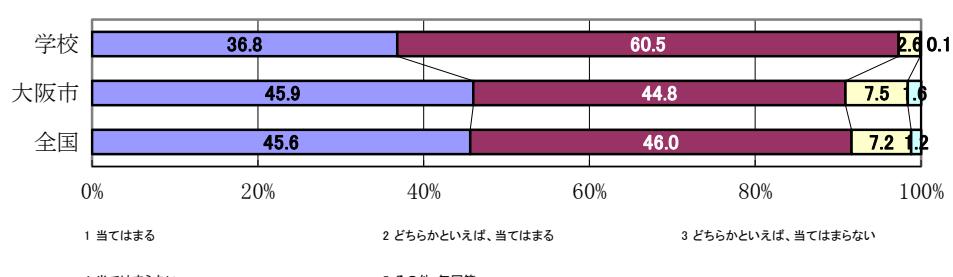
7

将来の夢や目標を持っている



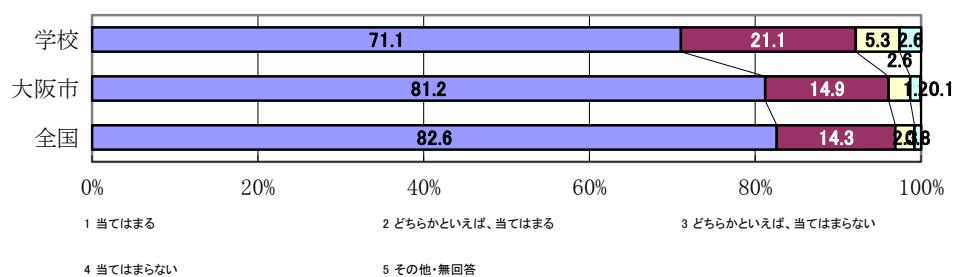
8

人が困っているときは、進んで助けている



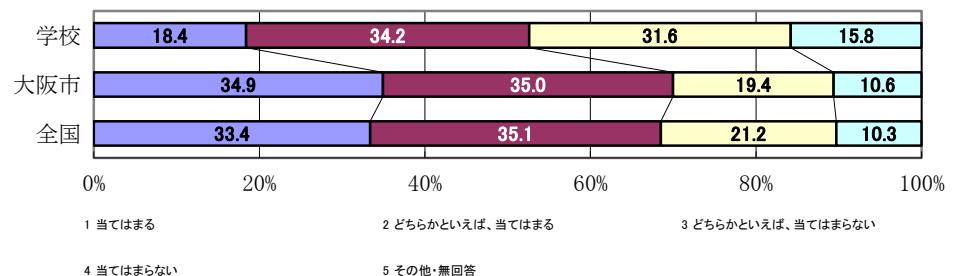
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



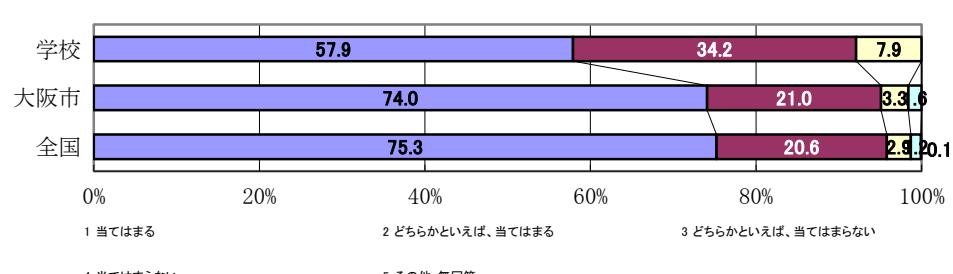
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



11

人の役に立つ人間になりたいと思う



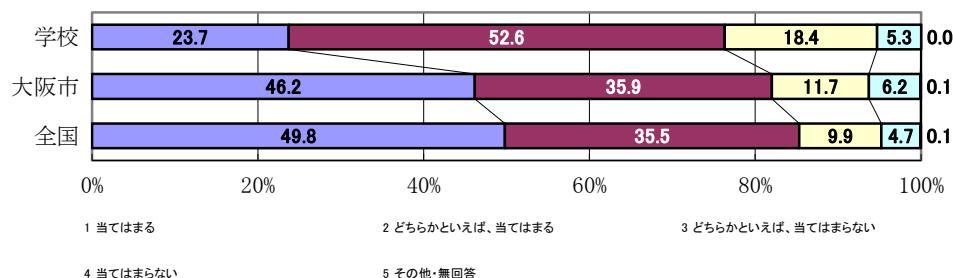
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

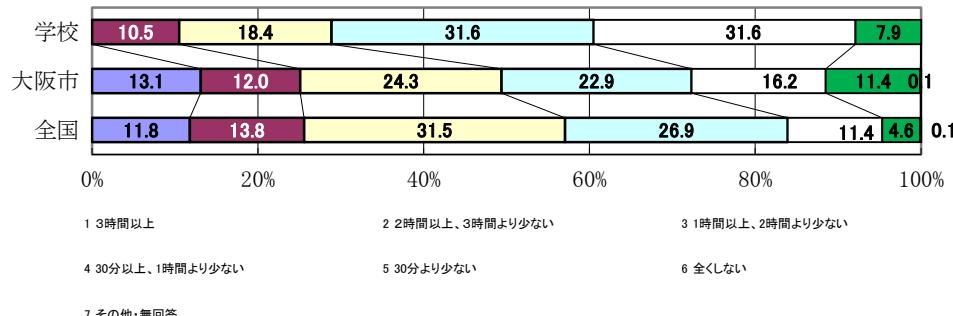
12

学校に行くのは楽しいと思う



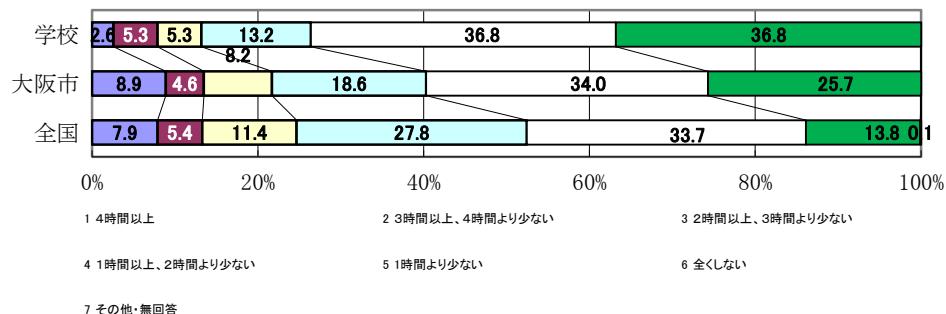
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)



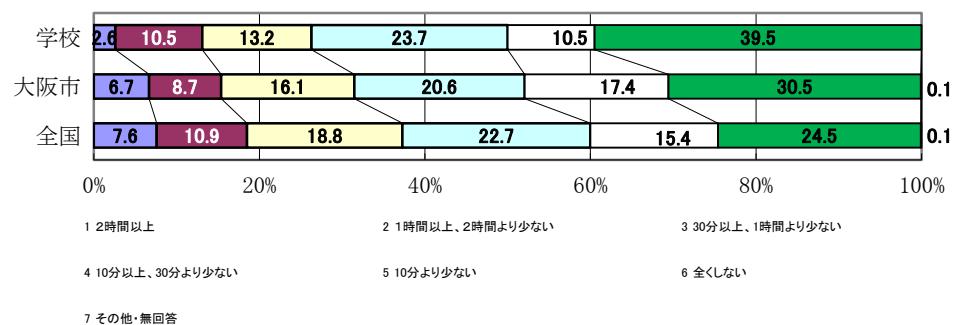
18

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)



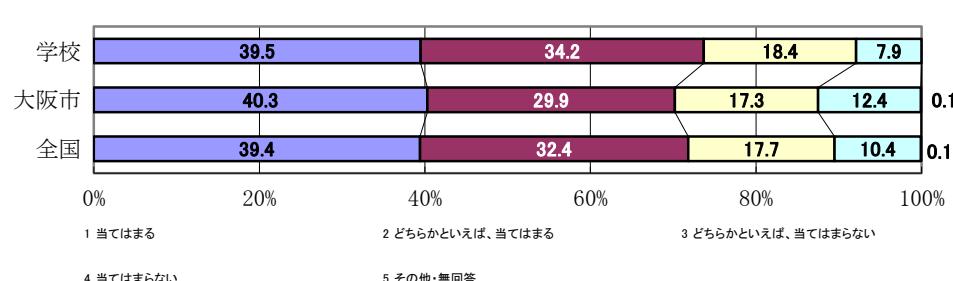
20

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)



24

読書は好きですか



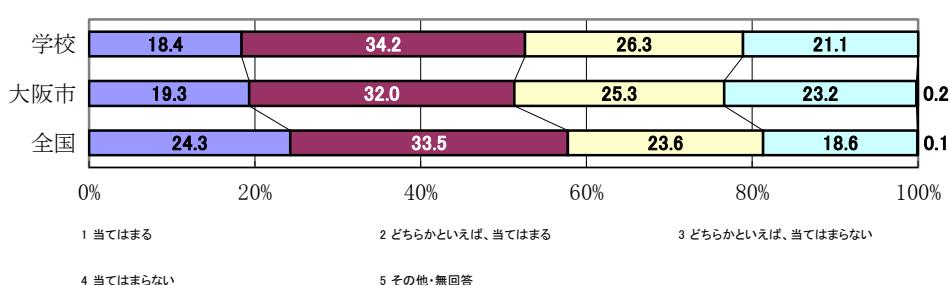
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

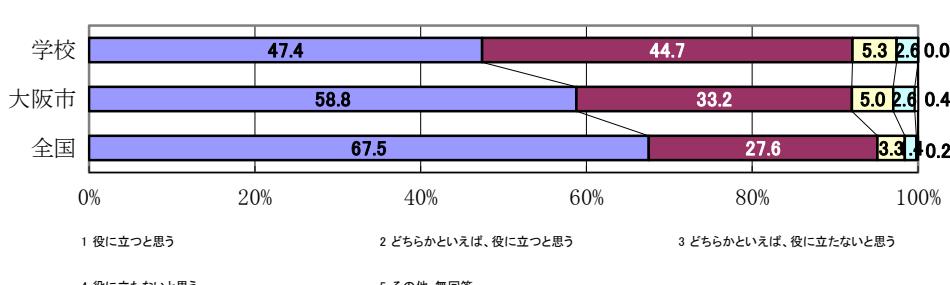
25

今住んでいる地域の行事に参加している



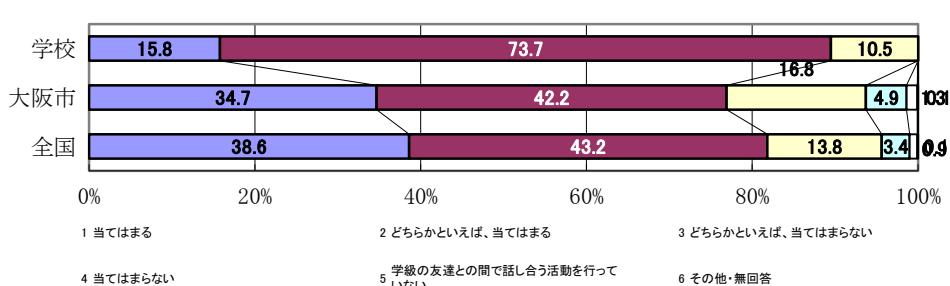
30

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



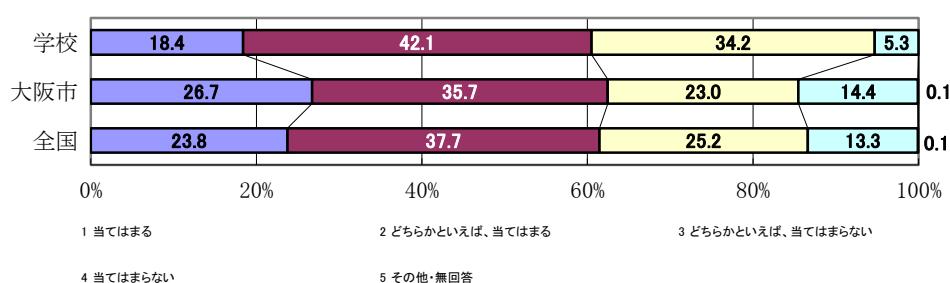
36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



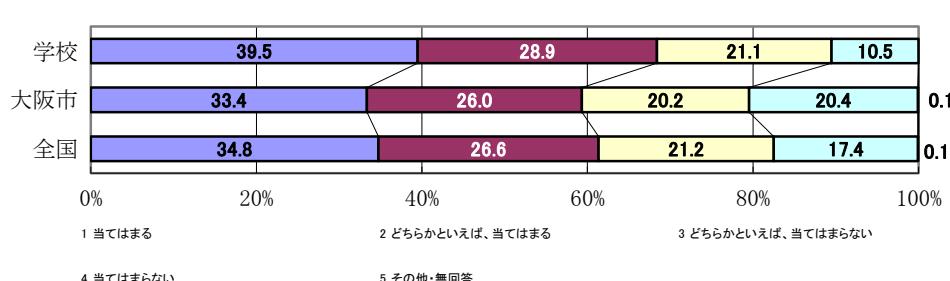
43

国語の勉強は好きだ



51

算数の勉強は好きだ



学校質問紙より

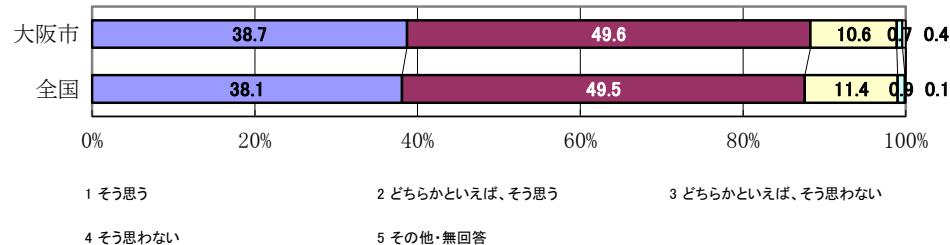
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

9

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

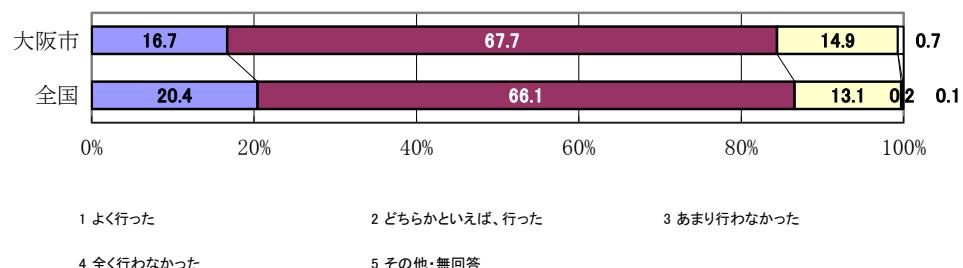
学校 「そう思う」を選択



11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

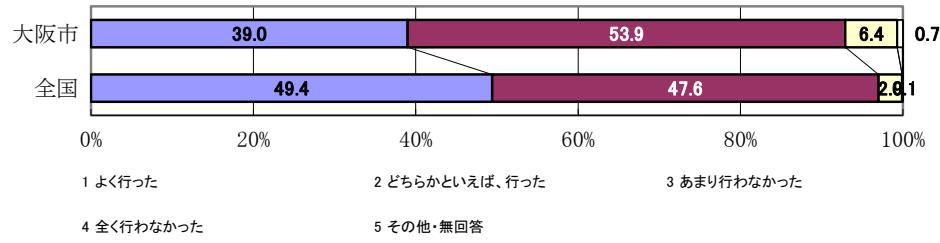
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



12

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた

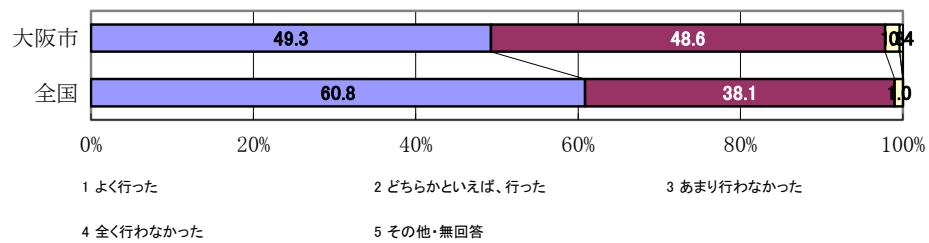
学校 「よく行った」を選択



13

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った

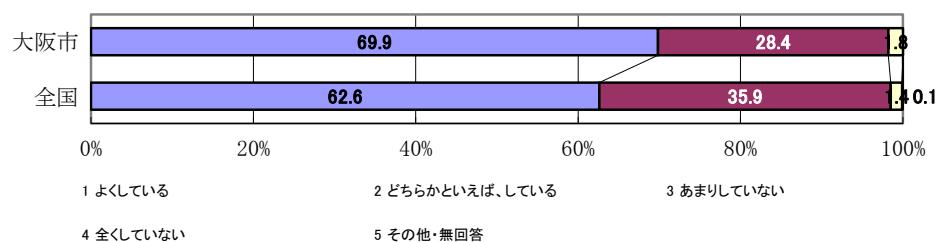
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

学校 「よくしている」を選択



学校質問紙より

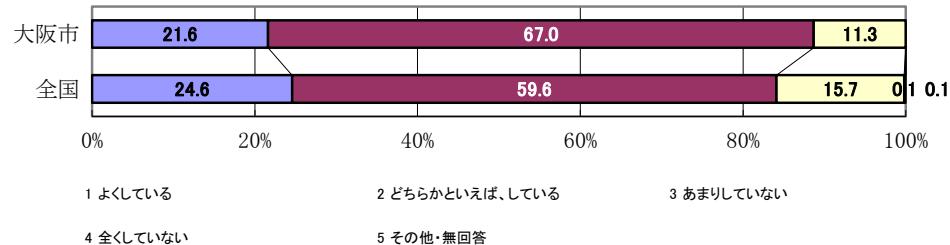
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

24

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している（オンラインでの参加を含む）

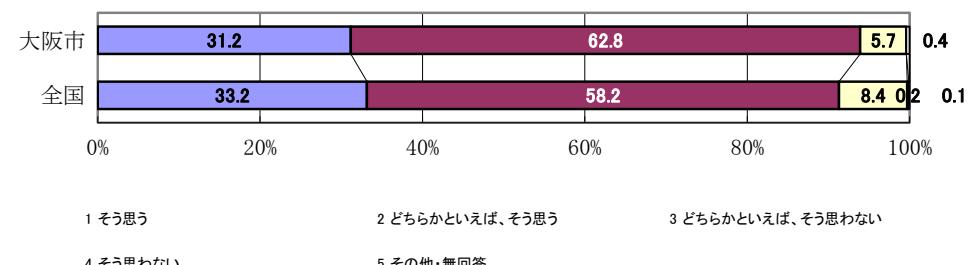
学校 「どちらかといえば、している」を選択



30

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができている

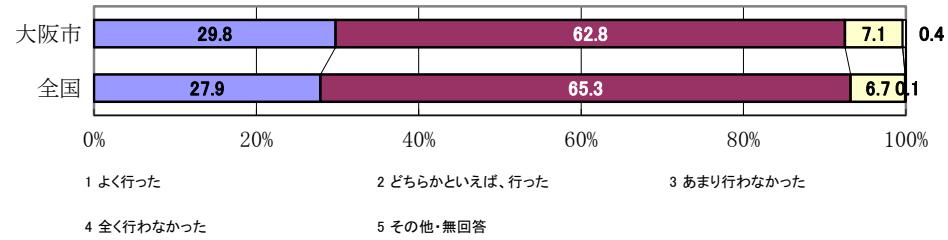
学校 「そう思う」を選択



43

調査対象学年の児童に対する国語の指導授業において、前年度までに、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導をどの程度行いましたか。

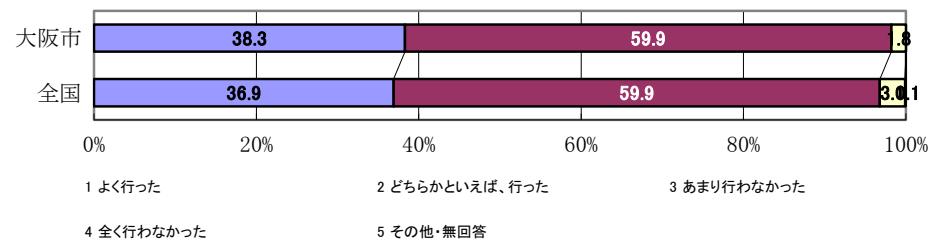
学校 「よく行った」を選択



45

調査対象学年の児童に対する国語の指導授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導をどの程度行いましたか。

学校 「よく行った」を選択



47

調査対象である第6学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や图形について実感を伴った理解をする活動をどの程度行いましたか。

学校 「よく行った」を選択

